

第1回 日本教育大学協会へき地・小規模校教育部門会議

日 時 平成30年11月18日（日）9:00～11:00

場 所 釧路市生涯学習センター8階 特別会議室

【議題】

1. 参加者自己紹介と会員名簿の紹介

31大学 76名（資料1）

2. 教大協部門認可について

2018年10月13日の日本教育大学研究集会（奈良教育大学開催）発表資料（資料2）

3. 部門運営規程について（資料3）

4. 運営体制について

代 表 玉井 康之（北海道教育大学副学長・へき地小規模校教育研究センター長）

副代表 川前あゆみ（へき地小規模校教育研究センター副センター長）

運営委員 若干名 代表の指名

事務局 北海道教育大学学務部地域連携推進室

中戸川 弘（室長） 堀北 昌宏（総括係長）

crc@j.hokkyodai.ac.jp 電話 011-778-0890

※事務職員の人事異動によって担当職員は交代する場合があります。

当面運営の事務局に関しても、北海道教育大学が財政的にも中心となるため、北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センターの各キャンパス代表者を指名させて頂きたい。

教大協の運営委員は、運営会議の出張旅費等は支出できる予算がない。そのためできれば、北海道教育大学の「へき地・小規模校教育研究センター」運営委員と教大協「へき地・小規模校教育部門」の運営委員の兼務することで、運営体制を合理的に進めたい。

5. 運営予算について

北海道教育大学の予算で当面賄う。なお、教大協からの予算補助（3万円程度）が効率的に使えるようであれば、申請することも検討する。

※なお、今回第一回の出張費は北海道教育大学で支出することができましたが、今後の各先生方の研究集会・部門運営会議への参加予算等は、各自の予算となります。

6. 研究紀要の発行について

部門で独自の研究紀要を発行する財政的な余裕はない。そのため、北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター紀要『へき地教育研究』に、部門会員にも投稿権を認める方向で検討する。

この紀要は年に1回発行し、一応学内掲載審査をしており、へき地・複式・小規模校研究に特化した学術誌である。

ただ投稿規定は、北海道教育大学の規定変更手続きが必要となるために、2019年度紀要からの改訂になる（2018年度紀要はすでに編集済み）。

7. 日本教育大学協会部門代表者会議について

2019年1月25日（金）13時～ 東京学芸大学（玉井出席予定）

8. 次回の部門の研究集会について

次年度の教大協の研究集会は、岡山大学で2019年9月21（土）-22日（日）研究集会の分科会の中の1部屋をへき地・小規模校に関する報告で頂くことで、部門研究集会にする。（部門の研究集会が軌道に乗るまでは、）

9. 「複式学級における学習指導の手引き」の紹介について

10. 各地のへき地校体験実習の実践報告と交流

へき地教育実習を実施している大学

今後のへき地教育の実習や講義等を開設しようとしている大学